

【報告】「写真好き」のための定例講演会

第42回「写真好き」のための定例講演会

神奈川県立近代美術館 鎌倉別館

「フィリアー 今道子」写真展

【日時】2021年12月16日(木) 13:30~17:00



館長 水沢勉氏(中央テーブル)の近代美術館の歴史とこれまで開催した写真展についての解説
近代美術館葉山講堂にて



朝木由香学芸員(右手テーブル)による「フィリアー 今道子展」作品の表現方法や見所の解説
近代美術館葉山講堂にて

1, 実施状況

実施日時 2021年12月16日

実施会場 神奈川県立近代美術館葉山館 及び 鎌倉別館

参加人員 11名(実行委員含む)

受付開始 12時30分~

矢萩喜從朗展鑑賞 ~13時25分

講演会 13時30分~14時45分 水沢館長、朝木学芸員

記念撮影 13時50分

鎌倉館別館へ移動 15時 1分~15時50分

「フィリアー 今道子」展 鑑賞及び今先生による解説、質疑応答 15時55分~17時

記念撮影 17時5分~17時10分

終了、自由解散 17時20分鎌倉館別館

2, 実施概要

久々の Real 講演会となった当日は気持ちの良い穏やかな日和に恵まれ、参加者は当日講演開始前に葉山館展示の「矢萩喜從朗 新しく世界に関与する方法」を観賞、どこか懐かしさを感じる日本各地のモノクローム写真と独創的なデザインワークのポスターや造形でテーマである「新しく世界に関与する方法」に思いを馳せながら13時30分からの講演会に臨んだ。

講演会は実行委員でもある鈴木敬子学芸員の司会で13時30分より開始され県立近代美術館館長 水沢勉氏、朝木由香学芸員の講演を拝聴した。以下両氏の講演内容の概略です。

神奈川県立近代美術館 館長 水沢勉氏 (13時35分-14時30分)

神奈川県立近代美術館は当初1951年鶴岡八幡宮の境内に開館したが2016年に土地貸借契約が満了、鎌倉館は閉館したが旧館は板倉準三氏の設計で2016年県の重要文化財に指定され、耐震補強の後鎌倉文華館鶴岡ミュージアムとなっている。

鎌倉別館は大高正人氏の設計で約2年の休館の後2019年にリニューアルオープン、両脇の建物をショップとカフェとして親しみやすく入りやすい雰囲気としている。葉山館は2003年高松宮家別邸跡に開館、風光と展示物の融合を目指した設計となっている。

海外作品を展示するため、それがレプリカであっても日本では数少ない電気工事士の資格を有する学芸員を2週間派遣しなければならなかった等苦労話も伺え、私達が気軽に美術館展示観賞出来る裏側で、美術館を維持運営される方々の並々ならぬご苦労を強く感じた1時間でした。

神奈川県立近代美術館 学芸員 朝木由香様 (14時30分-14時45分)

鎌倉別館で開催中の「フィリアー 今道子」展の見所として今道子氏が生鮮食品や日用品を造形の素材に使用した事、自然光のモノクロプリントで表現した事、作品をより引き立たせるため展示するフレームにも色、形に拘った事、カラーも7点ある事等を簡潔に説明して頂いた。



神奈川県立近代美術館葉山の野外彫刻の前に、講師の水沢勉館長と朝木由香学芸員と参加者の集合写真
近代美術館葉山館中庭にて



引率の鈴木敬子学芸員と神奈川県立近代美術館鎌倉別館のモニュメント前での参加者との集合写真
近代美術館鎌倉別館にて

「フィリア - 今道子」展鑑賞（鎌倉別館）

先に朝木学芸員から解説されていたが、実物は好き嫌いがはっきり分かれると思われる生食材を使用した衝撃的な造形に圧倒され、見事に黒の締まったプリントの仕上がりに感心、同じ大きさの作品ながらフレームの色、形が作品に併せて替えてある事や今先生の作品では珍しいカラー作品も鑑賞する事が出来た。会場にはサプライズの幸運にも今道子先生がお見えになっておられ、直接ご説明や質疑のお答えを頂く事ができた。最後に今道子先生と参加者で記念撮影、17時20分終了解散となった。

以上、第42回写真好きのための定例講演会実施報告です。

最後にお忙しい中ご講演頂いた水沢勉館長、朝木由香学芸員、鎌倉別館では快く解説、質疑応答に応じて頂いた今道子先生、今回、企画、準備、受付、引率と大忙しの鈴木敬子学芸員、関係者の皆様に深く感謝申し上げます。

報告：写真好きのための定例講演会実行委員 森田 晃